



北海道 国際協力 フェスタ 2019



報告書

主催 北海道 NGO ネットワーク協議会

共催 JICA 北海道

後援 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、
公益財団法人札幌国際プラザ

目次

☆ 実行委員長挨拶	2
☆ 北海道国際協力フェスタ 2019概要	3~6
☆ セクション報告	7~11
➤ レイアウト	7
➤ ステージ	8
➤ 広報	9
➤ 学生企画	10
➤ インフォ	11
☆ 実行委員企画	12
☆ プレイベント	13
☆ 振り返り	14
☆ アンケート結果	15~19
☆ 配布資料	20~23
☆ 掲載紙	24

実行委員長挨拶

2019年12月21日(土)、22回目を迎えた「国際協力フェスタ2019」が開催され、多くの市民のご来場を得て盛況のうちに終了いたしました。

同フェスタは、国際協力・交流に携わる道内のNGO、学生団体が一堂に会し、市民がその多彩な活動と出会い、国際協力の「はじめの一歩」を踏み出すきっかけになることを主たる目的としております。今年度は「SDGs for all～違いを知ろう、楽しもう」をテーマに掲げました。世界では、障害や人種から育まれてきた文化・考え方からくる、あって良い違いがあれば、貧富の格差など、あってはならない違いもあります。そういった違いを知ってSDGsは誰のものであるべきかを考え、楽しむという思いを込めました。

フェスタで得た出会い発見をお持ち帰りいただいた市民のみなさま、「さぼーとほっと基金」を通して支援いただいたみなさま、国際協力への思いを個性豊かに表現くださった参加団体のみなさま、広報にご協力いただいたみなさま、取材してくださった報道関係のみなさま、そして10カ月にわたって準備・運営にご尽力いただいた実行委員、ボランティア、開催に関わったすべての方に心より感謝いたします。

北海道国際協力フェスタ2019 実行委員長
島田 祐亮



■北海道国際協力フェスタ 2019 SDGs for all ～ “ちがい” を知ろう！楽しもう！～ 概要

1. 北海道国際協力フェスタとは

目的：道内 NGO 等による国際協力の推進に寄与する

目標：（１）市民へ国内外の現状や課題を伝える場となる

（２）SDGs に対する市民の認知、関心を高める場となる

（３）参加団体の活動に賛同する市民が増える場となる

（４）道内 NGO 等の知見交換の場となる

（５）準備、運営を通して学生、社会人、関わるすべての人にとっての発見、出会い、成長の場となる

2. 内容

日時：2019年12月21日（土）11:00～17:00

場所：札幌駅前地下広場（チ・カ・ホ）北3条交差点広場

主催：北海道 NGO ネットワーク協議会

共催：JICA 北海道

企画/運営：北海道国際協力フェスタ 2019 実行委員会

助成：さぽーとほっと基金

後援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、（公財）札幌国際プラザ

構成：会場内に5つのエリア「チャリティーバザーブース」「活動紹介ブース」「ステージ」「ワークショップ」「パネル展示」を設け、インフォデスクを設置しクイズラリーを実施する

来場者数：延べ 1,500 名

3. 参加団体一覧（順不同）

1	NPO 法人「飛んでけ!車いす」の会	15	NPO 法人 北海道インターナショナル協議会
2	あしなが学生募金北海道エリア	16	フレンドシップフォースオブ札幌
3	NPO 法人 札幌VO	17	北海道青年国際交流機構（北海道 IYEO）
4	PLAN サポーターズ	18	フェアトレード北海道
5	（一財）北海道国際交流センター	19	札幌ベトナム交流会
6	北海道マルティコラネパール教育基金	20	市立札幌大通高等学校 遊語部
7	フィリピン耳の里親会	21	非戦ネット北海道有志の会
8	NPO 法人 どさんこ海外保健協力会	22	北海道ユニセフ協会
9	（公財）北海道 YMCA	23	北海道青年海外協力隊を育てる会
10	NPO 法人ほっかいどうピーストレード	24	セカンドハンド北海道
11	（一社）滝川国際交流協会	25	（公社）青年海外協力協会
12	JICA 北海道	26	青年海外協力隊北海道 OB 会
13	北海道科学大学国際協力学生団体 Frato（フラート）	27	酪農学園大学国際交流サークル SukaRela（スカレラ）
14	北海道 NGO ネットワーク協議会		

4. 北海道国際協カフェスタ実行委員会

	氏名（敬称略）	役割	所属
1	島田 祐亮	実行委員長	北海道 NGO ネットワーク協議会/ NPO 法人飛んでけ！車いすの会
2	岡田 朋子	事務局/ステージ	北海道 NGO ネットワーク協議会/ （一財）北海道国際交流センター
3	立石 喜裕	事務局	北海道 NGO ネットワーク協議会
4	小泉 雅弘	プレイベント企画	北海道 NGO ネットワーク協議会 NPO 法人さっぽろ自由学校「遊」
5	伊東 博美	事務局/ステージ	北海道 NGO ネットワーク協議会
6	舟窪 拓馬	広報 SNS	NPO 法人飛んでけ！車いすの会
7	佐藤 雅一	実行委員会企画	北海道 NGO ネットワーク協議会 (公財)北海道 YMCA
8	金（コン）里美	広報 SNS/レイアウト	(公社)青年海外協力協会
9	伊藤 丈和	レイアウト	(公社)青年海外協力協会
10	山崎 千尋	インフォデスク	(勤務先：札幌国際大学総務課)
11	竹村 風力	学生企画	酪農学園大学国際交流サークル SukaRela (スカレラ)
12	合田 真由	学生企画	酪農学園大学国際交流サークル SukaRela (スカレラ)
13	北本 美穂	学生企画	酪農学園大学国際交流サークル SukaRela (スカレラ)
14	鴻野 蒼	ステージ	北海道科学大学 国際協カ学生団体 Frato（フラート）
15	米澤 万奏	広報 SNS	北海道科学大学 国際協カ学生団体 Frato（フラート）

5. スケジュール

日付	名称	内容
5/25 (土)	北海道 NGO ネットワーク協議会 事務局打ち合わせ	昨年度の担当者より引き継ぎ
7/8 (月)	第 1 回北海道国際協カフェスタ 2019 実行委員会	概要説明 役割分担
7/27 (土)	さぽーとほっと基金公開プレゼン	
8/20 (火)	第2回北海道国際協カフェスタ 2019 実行委員会	テーマ決め、 募集要項などの確認

9/1 (日)	北海道国際協カフェスタ 2019 参加団体募集開始 (会員団体先行募集)	締め切り 9/12
9/13 (金)	北海国際協カフェスタ 2019 (一般募集)	締め切り 9/23
10/1 (火)	第3回北海道国際協カフェスタ 2019 実行委員会	参加申込状況の確認 チラシ・ポスター確認 プレイベント広報
10/22 (火/祝)	第1回北海道国際協カフェスタ 2019 参加団体ミーティング	各団体紹介、概要説明
10/21 (火/祝)	北海道国際協カフェスタ 019 プレイベント 「持続可能か開発と市民社会~NGO/NPO のこれまでとこれから」	講師：大橋 正明氏 (SDGs 市民社会ネットワーク共同代表)
11/19 (火)	第4回北海道国際協カフェスタ 2019 実行委員会	当日に向けた 実行委員会内の最終確認
12/7 (土)	第2回北海道国際協カフェスタ 2019 参加団体ミーティング	当日の動き等の最終確認
1/25 (土)	北海道国際協カフェスタ 2019 振り返りの会	振り返り



収 支 決 算 書

項 目		予算額(円)	決算額(円)	予・決の差	内 訳	
収 入	自己資金	100,000	95,000	▲ 5,000	0 事業収益 参加費1000×2(団体) 4000×20 13000×1 0 その他	
	さぽーとほっと基金助成金	125,000	125,000	0	0 当該事業に対する助成希望額	
	その他の補助金・助成金			0		
	寄附金・協賛金	180,000	179,380	▲ 620	JICA 76,780円(机、椅子) 102,600円(音響)	
	その他			0		
	計	405,000	399,380	▲ 5,620		
支 出	助成対象事業	報償費	10,000	0	▲ 10,000	講師なし
			40,000	40,000	0	ボランティア謝金 10000円×1(団体) 3000円×6(人) 2000円×6(人)
	役務費	10,000	7,590	▲ 2,410	報告書送付切手代、荷物運搬駐車場代	
		45,000	43,750	▲ 1,250	デザイン変更料 チラシ/ポスター印刷(チラシ10,000部 ポスター100部) 当日リーフ印刷(800部) クイズラリー用紙印刷(200部)	
		30,000	30,000	0	報告書制作費(50部)	
	使用料・賃借料	30,000	15,009	▲ 14,991	実行委員会会場費(9/20、10/1、12/7、1/25)	
		180,000	179,380	▲ 620	フェスタ会場費、備品・音響賃借料	
	備品費・消耗品費	10,000	4,211	▲ 5,789	備品(封筒、文具、養生テープ、マグネット)代など	
		40,000	27,610	▲ 12,390	看板・パネル作成費	
	旅費	10,000	8,000	▲ 2,000	1000円×6名 2000円×1名	
	その他	0	18,800	18,800	フェスタ保険	
	小計	405,000	374,350	▲ 30,650		
	助成対象外経費	会場費			0	
					0	
				0		
				0		
小計		0	0	0		
計	405,000	374,350	▲ 30,650			

■セクション報告～レイアウト～

報告者：伊藤 丈和（公益社団法人 青年海外協力協会）

レイアウトに関しては、概ね活動ブースエリア、チャリティーバザーエリアの2か所に関しては、昨年の配置を踏襲しました。但し、活動ブースエリア背面のパネルボード設置時のディスプレイが見えなくなるという問題点が昨年の反省会で出たためサイドに少しずらしてブースを設置しています。また、パネルエリアは中央奥から、さっぽろ駅インフォメーション側に設置して、共有の長机と椅子を配置しています。これにより、休憩スペースを中央奥へと移動し、中央エリア中程に、ワークショップスペース2か所を大きく取ることができました。

大きな変更点としては、ステージ台を今年度は設置せずに、養生テープ等でエリアを目張りして対応しています。ステージ客席に関しては、これまでのように、30程度の椅子を設置して対応しています。

各、ブース間は車椅子でも通行できるように導線幅を大きく確保しています。

当日の朝の集合時からの設営に関しては、参加人員を整理して前準備を行いました。これにより、情報の通達が円滑になり、無駄な備品の搬入等も結果防ぐことが出来たと思います。今回1点不備があったのが、パネルボード28枚と両サイドの脚とおもり52セットの利用予定でしたが、当日の準備数が足りませんでした。隣同士のブースでジョイントして頂き対応しましたが、今後はこういった備品の不備が出ないように担当間でも確認作業を徹底します。

また、ステージの映像音響も当班で対応しました。現場での常時用意されている備品を正確に把握できなかったため、こちらでも推測できる事態を事前に想定して、打ち合わせや自前の備品を持参して対応しました。近年映写と音響で良く使われるHDMI形式の接続は当現場ではできません。また、音響ケーブルは5メートルの物が通常貸し出し品に準備されておりますが、スピーカー位置の関係で10メートルでないと対応できません。延長コードは短いため、延長リールを必ず2つ以上借りる必要が出てきます。あわせて、アナログケーブルからPAにつなぎ音量を調節しますがジャックのジョイント部に接触不良が出るケーブルもあるためジャック等のつなぎ方は勿論ですが、音が鳴らない、映像が出ない、このような場合は線の抜き差し、しっかり結合しているか？ケーブルが引っ張られていないか？などテンションの確認も適宜必要となります。

以上の事を踏まえて、次年度以降、レイアウトが映像音響の設備を担当するか？など検討が必要であると思われます。

もう一点、椅子、長机のレンタルの空きカゴなどをどこに置くかなども目安として考えておく必要があると思います。今年度はさっぽろ駅側インフォメーション裏に整理して置いています。



ブース前面はタイル3つ目にあわせる



ステージはケーブルと養生テープにてエリア確保



映像音響系の現場のインターフェース

■セクション報告～ステージ～

報告者：伊東博美（北海道 NGO ネットワーク協議会）

ステージ班は、司会の北海道科学大学国際協力学生団体 Frato の鴻野蒼さんと札幌国際大学の留学生 TRAN THI THUY さん、伊東の3名でステージの進行を担当しました。

事前準備として、ステージスケジュールを組み、発表団体のプログラム内容が時間内に収まるか、使用するデータ媒体が使用できるものか等、発表団体との調整を行いました。

MC 原稿は発表団体の活動紹介を中心として作成しましたが、発表団体のプログラムが活動紹介そのものであったことから、発表団体との当日の直前打合せでほとんどの原稿がボツになってしまいましたが、結果としては、司会が臨機応変に MC 対応することで進めることができました。

今回、映像音響はレイアウト班が担当でしたが連携体制はスムーズで、発表団体からの突発的なデータ変更などにも全員で協力して対応することができました。役割分担はできていましたが、ステージ班が発表団体の誘導、直前打合せ、プログラムのタイムキープを担当するには、司会のほかにスタッフが3名いれば効率よく進行できるのではないかと思います。

プログラムとプログラムの合間には、JICA のSDGs の理解を深めるためのクイズ映像と音声を、使用許諾を得てスクリーンに流しました。わかりやすいアニメを使ったテンポの良い内容だったこともあり、着席してじっくり見ている人もいました。

今年、派手なプログラムはありませんでしたが、歌、トーク、クイズ、ファッションショーなど、それぞれの団体の特徴的な活動内容のPRをするというステージの目的を達成することができました。



<ステージプログラム>

北海道マルディコラ・ネパール基金	ネパールの子どもたちに奨学金、学校への図書寄贈の活動をご紹介します
NPO 法人 札幌 VO	ギターと歌のステージ
フレンドシップフォースオブ札幌	ホームステイを通じた国際交流を映像+トークで
公益財団法人北海道 YMCA	YMCA の国際協力活動を映像でご紹介します
NPO 法人 「飛んでけ！車いす」の会	車いすを整備して海外に届ける活動の体験談
北海道ユニセフ協会	「子ども達の世界を守ろう SDGs」トーク
独立行政法人国際協力機構北海道センター (JICA 北海道)	世界とつながる協力隊クイズ！
北海道 NGO ネットワーク協議会	世界の民族衣装ファッションショー
JICA 北海道 +北海道 NGO ネットワーク協議会	SDGs の歌のパフォーマンス！民族衣装ともコラボして盛り上げます

■セクション報告 ～広報班～

報告：山崎千尋（札幌国際大学）

広報班は、チラシ・ポスターの作成と開催広報活動を担当しました。

【チラシ・ポスター作成】

昨年から、チラシ・ポスターの基本デザインを定めました。毎年同じデザインのポスターを掲示することにより、イベントをより印象付ける狙いがあります。

今年のポスター作りは、イベントテーマ・日時・写真等を変更し、色は昨年同様インパクトのある黄色にしました。デザインが決まっていたため、校正も早く終わらせることが出来ました。

【広報活動】

○イベント前

- ・札幌市政記者クラブへプレスリリースを配信。
- ・参加団体、実行委員へチラシ 50 部・ポスター 2 枚を配布。配布できる数が多い団体には希望に応じて追加配布しました。
- ・各参加団体の協力を得て、学校、生協、JR 駅、区民センター、大通り情報センター、大通りふれあいパンフレットコーナー、札幌市生涯学習センター等に配架、掲示することができました。
- ・参加団体には、各団体のイベント時にも参加者へチラシを配布していただく。
- ・大通り情報センターのイベント情報、ジモティーイベント情報掲示板、JICA 北海道ホームページにも掲載していただき、インターネット上でも告知。
- ・フェイスブック、インスタグラムにチラシ・当日会場図を投稿。
- ・北海道新聞、さっぽろ10区(トーク)などに開催告知掲載。

○イベント当日

- ・北海道新聞、HTB ニュースの取材があり放映されました。
- ・インスタグラムに写真を投稿し、当日の様子を配信。



■セクション報告 ～インフォメーションデスク～

報告：山崎千尋（札幌国際大学）

インフォメーションデスクは、当日配布するパンフレットの作成、当日会場の総合受付・案内、クイズラリーの配布・回収を担当しました。

当日パンフレットの作成は、昨年と同じデザインを使用しました。今年の参加団体の紹介と配置図、プログラムの内容などの変更をし、校正は速やかに終わらせることができました。

当日の会場では、インフォメーションデスクを札幌駅側と大通り駅側の2カ所に設置しました。飾り付けにあたり、どのようにすれば人通りの多いチカホで、「遠くからでも目立つようにできるか」「通り過ぎる人に、どんなことをしているイベントなのかを伝えられるか」を工夫するようにしました。

「遠くから目立つようにする」では、例年通り“国際協力フェスタ インフォメーション”の看板を立て、二倍の大きさに印刷したポスターを貼ったり、デスクにイルミネーションで飾り付けをしたりし、暗い中でも可愛らしく目を引くようにしました。

「通り過ぎる人に、どんなことをしているイベントなのかを伝えられるか」では、『チャリティーバザー』・『活動紹介ブース』・『ワークショップ』等を直径20センチの大きさに印刷し、インフォメーションに飾り付けしました。また、ステージスケジュールを拡大印刷し、大通り側デスクでは受付背面に、札幌駅側デスクでは札幌駅側通路に向け掲示しました。

当日の担当人数は実行委員2名、ボランティア学生4名の計6名で、3名ずつ2カ所に配置しました。

開催内容を丁寧に説明したり、クイズラリー参加を呼び掛けたりと会場の中への誘導を積極的に行いました。

クイズラリーの回答を手渡す際に、参加者の方々から感想を聞いたり、国際協力についてのお話を聞いたり

沢山のひとと交流することができ、インフォメーション担当者も充実した一日となりました。



ステージスケジュール

時間	内容	内容
11:00-11:15	開 会 式	
11:15-11:45	北海道青少年ボランティア育成委員会 結成の経緯を説明	
12:00-12:25	NPO法人 札幌VO	VO 活動の紹介
12:30-12:55	フレンドシップフォーラム札幌	ふるさとづくりの大切さを説明し、体験コーナー
13:00-13:30	公益財団法人北海道YMCA	YMCの活動や国際協力活動の紹介
13:45-14:15	NPO法人 福んでけいずの会	福祉・高齢者・障がい者支援の取り組み
14:20-14:50	北海道ユニセフ協会	「子ども権利宣言」の意義を説明
15:00-15:30	IICA北海道	世界の多様な文化を学ぶ国際交流
15:45-16:15	北海道NGOネットワーク協議会	多岐の団体の紹介とパネルディスカッション
16:15-16:30	IICA北海道・ 北海道NGOネットワーク協議会	SDGsの取り組みやボランティアの役割などについて話し合います
16:45-17:00	閉 会 式	

北海道国際協力フェスタ 2019

SDGs for all
「ちがいを知るが楽しもう！」

SDGs(エスディージーズ)は、
平和と豊かに住み続けられる社会を目指す目的で、
定めている国際的な目標です。

2019年12月21日 11:00～17:00
札幌駅前通地下広場(札幌) 北3条交差点広場(北)

■ 実行委員：SDGs推進委員会、札幌市国際交流推進センター、IICA北海道
■ 協賛：IICA、北海道青少年ボランティア育成委員会、札幌市国際交流推進センター、SDGs推進委員会

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsは、2016年9月のサミットで採択された、2030年までに達成を目指す17の国際目標です。SDGsは、持続可能な開発目標の略称で、持続可能な開発のための道筋を示しています。

北海道NGOネットワーク協議会(事務局) 札幌市 北3条
〒050-0001 北海道札幌市北3条1丁目1番地(札幌市北3条) 110-0001
TEL:011-836-2111 FAX:011-836-2112

■学生企画

報告者：竹村 風力（酪農学園大学 国際交流サークル SukaRela）

学生企画では、着物の帯留めや、余った布を再利用して、まったく別のものを作るワークショップを行いました。コースターやプレスレット、そしてヘアピンなどを作りました。企画が始まったころにスーツケースを渡され、その中に入っていたもの以外にも、参加団体ミーティング内などで持ち寄りを呼びかけ、たくさんの種類の布が集まりました。当日では、学生企画のワークショップにお立ち寄り下さるお客様の数が、初めの想定より僅かに多く、有意義なものになりました。反省点としては、このワークショップを売っているものと勘違いしてしまったお客様がいてしまい、自分たちがやっていることをよりアピールする工夫がもう少し必要だったのではと思いました。更に、途中でボンドが足りなくなるアクシデントが発生してしまい、追加で購入しましたが、それだけお客様が来ていただいたということで、やりがいを感じました。



私は酪農学園大学国際交流サークル SukaRela に所属しておりますが、そちらのブースは私達の学生企画のすぐ近くだったので、不便ではありませんでした。また、自分はこれまでワークショップなどを受ける側、体験する側だったので、自分が開催する立場になったことで常に一定の緊張感を要する良い刺激を得られました。実際に当日教える際に、自分が一番知っておかなくてはいけないという焦りがありました。しかしながら、

北本さんと合田さんをはじめ、多くの方々に手助け頂き、本当にありがとうございました。この場を借りて、改めてお礼を述べさせていただきます。来年度は私が参入するか未定ですが、学生企画という制度は継続させていただきたいです。自分自身、2019年を通して担当させていただいて分かったことですが、これは自分以外にも少なからず影響を及ぼします。一風変わっているかもしれませんが、新しい風を送ることも、いずれ良い方向に変革する追い風になるでしょう。

■実行委員会企画～クイズラリー

報告者：佐藤 雅一（北海道 NGO ネットワーク協議会）

- 目的
- 1.クイズを通じて、会場内を一回りしてもらおう。
 - 2.クイズを通じて、世界で起きている様々な課題や現状を知ってもらおう。
 - 3.クイズを通じて、国際協力の必要性を知ってもらおう。
- 問題設置場所
- チャリティーバザーブース 13
活動紹介ブース 9 合計 22 カ所
- 問題数
- 子ども用 10 問 大人用 10 問
- 問題設置方法
- 会場内を5つのエリアに分け、各エリア内の1ブース計5カ所を回るように設定する。
活動紹介ブースで2エリア、チャリティーブースで3エリア 計5エリア
ブースにA4サイズの問題を配布し、参加者が来たら見せる。
解答用紙は、参加者が持参する。回答用ペンは各ブースに配布する。
- 手順
- ①インフォメーションで解答用紙を配布する。
 - ・解答用紙には、ブースが5カ所指定されている。
 - ②会場を5つのエリアに分け、各エリアの中から1カ所を回る。
 - ・回る場所は解答用紙に記載されている。
 - ③ブースに設置されている問題を読み、解答用紙の番号に印を付ける4択方式
 - ・正解だと思う番号に○を記入する。ペンは各ブースに配布する。
 - ④5カ所回り終わったら、解答用紙をインフォメーションに提出する。
 - ・答え合わせが出来るハンドブックと記念品を渡す。
- 評価
- ・昨年は途中で解答用紙が無くなったので、子ども用・大人用編ませて350枚用意したが、参加者は昨年並みで、用紙が余った。
 - ・クイズラリーにより、会場全体に人が回る環境が出来ている。
 - ・クイズを通じて世界の状況、「様々な問題に触れてもらう良い機会をつくっている。合わせて各ブースの人と接する機会が生まれている。
 - ・最後のハンドブックを渡すことで問題の背景を理解してもらえ、他の問題にも目を向けてもらえる事が期待できる。
 - ・クイズラリーは、参加者に会場を回らせる仕組みやお楽しみプログラムとしてではなく、開発教育の視点を持って作られてきているので、今後参加者がより積極的にかかわれる仕組み作りを考えていきたい。



■イベント報告

報告者：小泉 雅弘（さっぽろ自由学校「遊」）

イベント名 SDGs（国連・持続可能な開発目標）CSO ミーティング
「持続可能な開発と市民社会—NGO・NPO のこれまでとこれから」

- 日 時 2019年10月22日（火・休） 13:30~16:30
- 会 場 札幌エルプラザ 2F 環境研修室1・2
- 参加費 500円（フェスタ参加団体ミーティング参加者は無料）
- 内 容 基調講演「SDGs とは何か～市民社会の視点から」
お話 大橋正明さん（SDGs 市民社会ネットワーク共同代表）
ワークショップ「SDGs を手がかりに、NGO・NPO の役割を再考する」
ファシリテーター 伊東かおりさん（NPO ファシリテーションきたのわ）
- 参加人数 37名（一般23名、ミーティング参加者14名）
- 主 催 さっぽろ自由学校「遊」、北海道NGOネットワーク協議会、北海道NPOセンター

前年同様、フェスタ参加団体ミーティングに合わせて、フェスタのイベントを開催した。今回の企画は、昨年SDGsのグループ別ミーティングの一環で行ったCSO（市民社会組織）ミーティングの継続を想定したもので、さっぽろ自由学校「遊」、北海道NGOネットワーク協議会、北海道NPOセンターの三者共催企画として実施した。（経費はさっぽろ自由学校「遊」で負担）

内容的には二部構成とし、第一部では基調講演としてSDGs 市民社会ネットワークの共同代表である大橋正明さんに国際開発の経緯からSDGsに至る流れとその特徴などを

NGOの視点から紹介していただいた。第二部では、4つのグループに分かれて「SDGsの可能性」「SDGs達成に向け、NGO・NPOは何ができるのか？」というお題に沿って話し合いをした。最後に話し合いの要点をまとめ、全体で共有した。

参加者アンケートでは、ほとんどの方が「とても良かった」「良かった」と回答しており、SDGsについてその背景や内容をしっかりと理解すること、そして様々な人と話し合うことの重要性を再認識した。

フェスタのテーマの共有や動機付けという意味でも、参加団体や実行委員会のメンバーがこうした事前の学びの機会を持つことは有効だと感じている。



◆フェスタ 2019 の振り返り◆

報告：立石喜裕（北海道 NGO ネットワーク協議会）

今年のフェスタの実行委員長は「飛んでけ！車いす」の会、そして北海道 NGO ネットワーク協議会の理事である島田祐亮さんが担いました。フェスタも通算 22 回目、チカホ会場となってから 7 回目の開催になります。島田さんはチカホ開催後、一貫して実行委員会の中心で活躍して来ました。企画会議や実行委員会への出席率は 100%。そして、全ての打合せにおいて記録をまとめたり、報告書を編集したり等、圧倒的な熱量でフェスタを牽引してくれました。打合せに参加することだけでも大変なエネルギーがいる中、日常の仕事や所属団体の活動をし、かつ資格取得試験勉強もしながら活躍しているスーパーマンのような姿を傍で見えてきました。いつか島田さんが実行委員長になるだろうと思っていましたが今回、満を持して実現しました。そして当然のように今まで培った能力を遺憾なく発揮し、見事にまとめ上げてくれました。

今年のフェスタのテーマは『SDGs for all ~ “ちがいを” 知ろう！楽しもう！~』、そして今年の流行語大賞「ONE TEAM」は偶然ながらフェスタの在り方を象徴していたと思います。フェスタは多様な人たちが夫々の特性を発揮しあって作り上げるもので、協働の過程で協調と融和を図りながら信頼とネットワークを広げて行くことに意義があり、その取り組みが共生、平和の基礎に繋がって行くのだとあらためて実感しました。

最後に、昨年末、国連難民高等弁務官、JICA 理事長を務めた緒方貞子さん、NGO ペシャワール会の中村哲さんが逝去されました。国際協力の現場第一線で活躍され世界でもっとも尊敬されたお二人の偉業を称えるため何か出来ないものか？という提案がフェスタ最終ミーティングで出され、ささやかな追悼展示とステージ発表をさせていただきました。お二人の活動の原点は徹底的な人道主義、平和主義です。SDGs の本質である『誰一人取り残さない』そのものだと思います。ここに国際協力の原点を表すお二人の言葉を記させていただきます、本フェスタの振り返りとさせていただきます。

緒方貞子さん：「文化、宗教、信念が異なろうと、大切なのは苦しむ人々の命を救うこと。自分の国だけの平和はありえない。世界はつながっているのだから。」

中村哲さん：「みんなが泣いたり困っているのを見れば、誰だって『どうしたんですか』って言いたくなる。そういう人情に近いもんです。」

追悼 緒方貞子さん、中村哲さん



写真引用元：UNHCR 日本 ホームページより

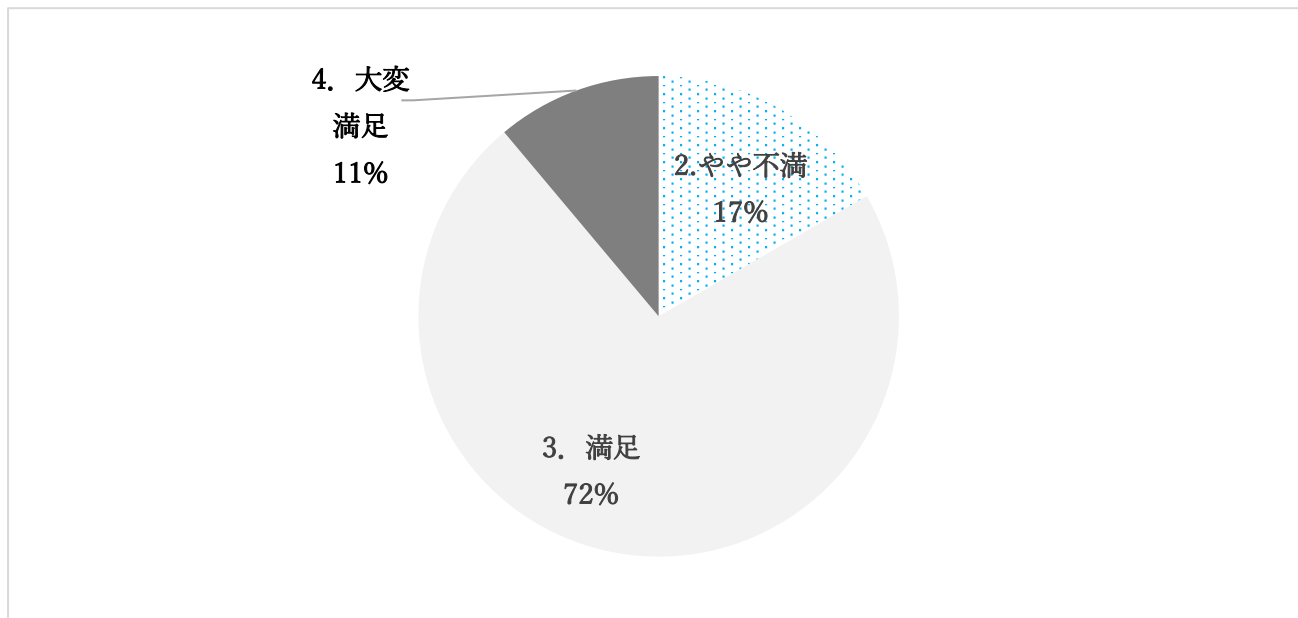


写真引用元：NEWSポストセブン ウェブサイトより

去る10月29日緒方貞子さん、12月4日に中村哲さんが逝去されました。「誰ひとり取り残さない」ための活動を第一線で実践され、世界でもっとも尊敬されたお二人の偉業を称え、平和への誓いの標として展示をさせていただきます。

対象：参加団体 27 団体 回答募集期間 2019 年 12 月 24 日～2020 年 1 月 6 日

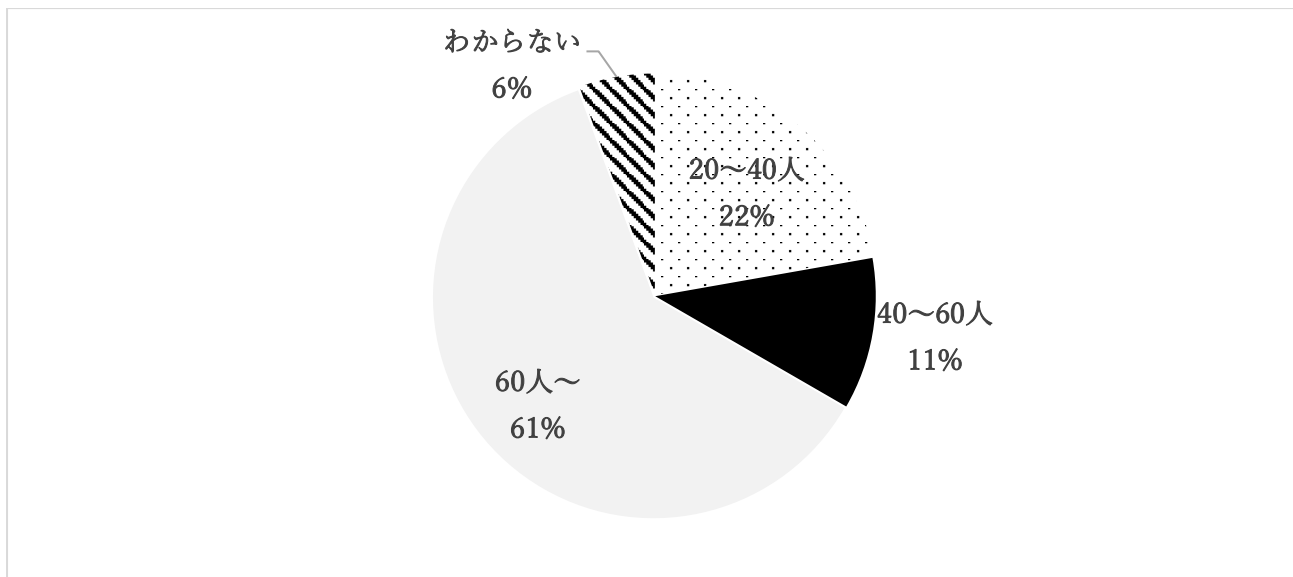
(1) 今年のフェスタの全体的な満足度を教えてください。



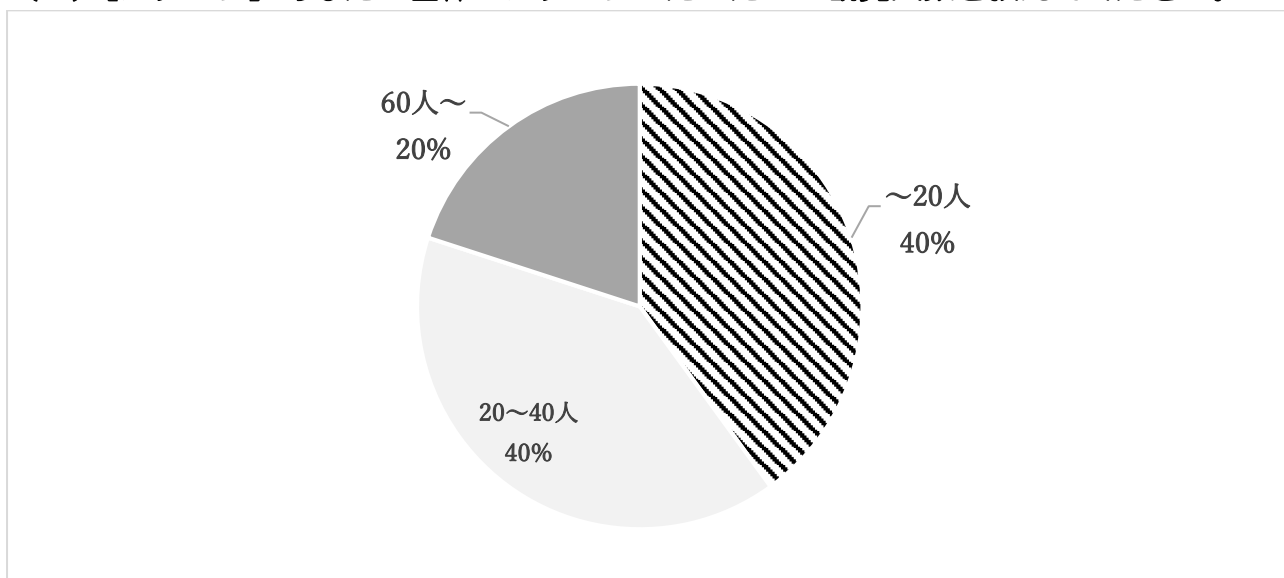
(2) (1) の回答の理由を教えてください。

- 無事に終わられた。
- 運営がスムーズであったこと、来場者が多かったこと
- 初めて取り組んだりサイクルバザーで、大勢の方に協力をいただき募金に繋がった。
- JICA のステージがスムーズにいかず残念。
- 色々な方と出会い、私たちの広報もできたため
- 多くの人に活動を知ってもらうことが出来た。
- 開催日程が遅かったせいか、お客さんの数が少なかったから
- 外国人への対応が不十分だったため。
- チカホでの開催が定着し、固定客に加えて、多様な皆様に様々な活動を伝えることが出来ているから。
- 初めてのステージイベントの参加だったが、画面も大きく、活動の発表の場としてよいことが分かった。
- 初めてのブース参加だったが、好評だったため。
- 自分のミスで準備に支障があったため

(3)【ブース】あなたの団体のブースを訪れた来場者のだいたいの人数を教えてください。



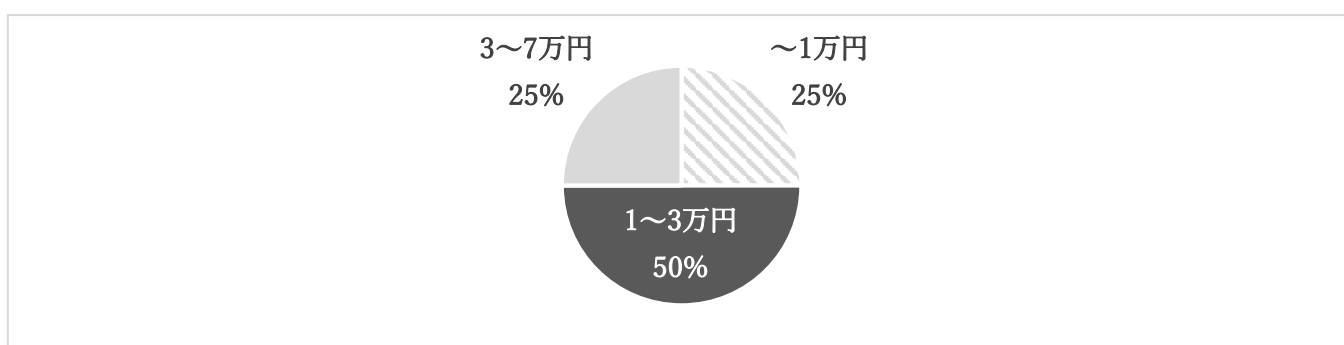
(4)【ステージ】あなたの団体のステージのだいたいの観覧人数を教えてください。



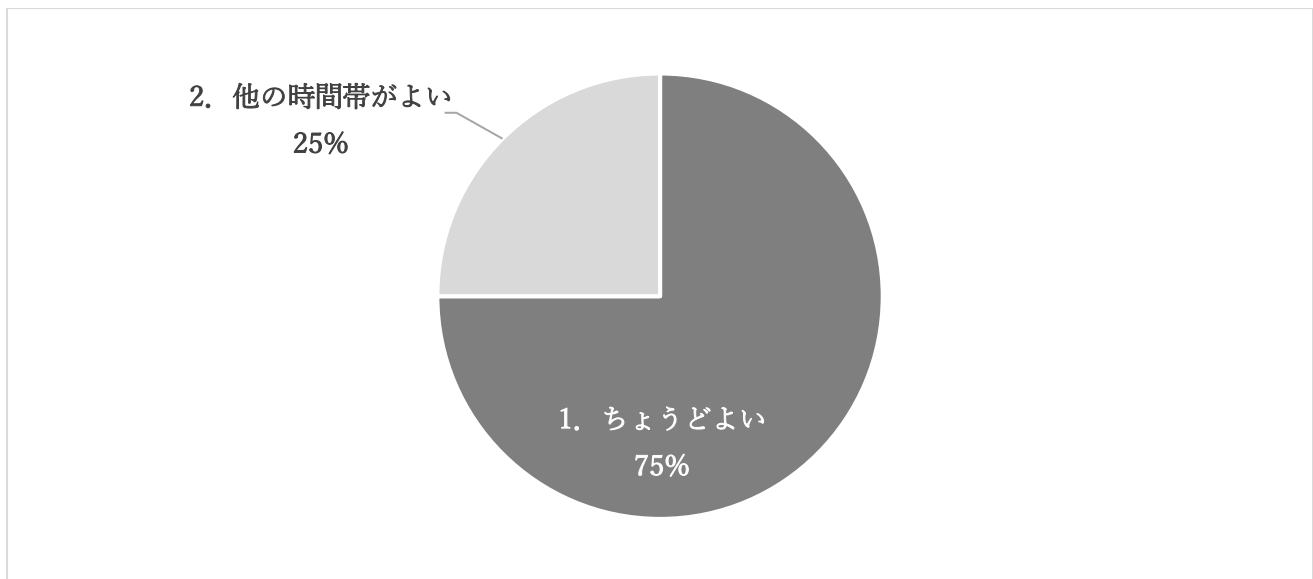
(5)【パネル展】あなたの団体のパネルを見た、だいたいの人数を教えてください。

・わからない 1件

(6) チャリティーバザーの参加団体にお尋ねします。売上はどのくらいでしたか？



(7) 開催時間（11時から17時）はどうでしたか。



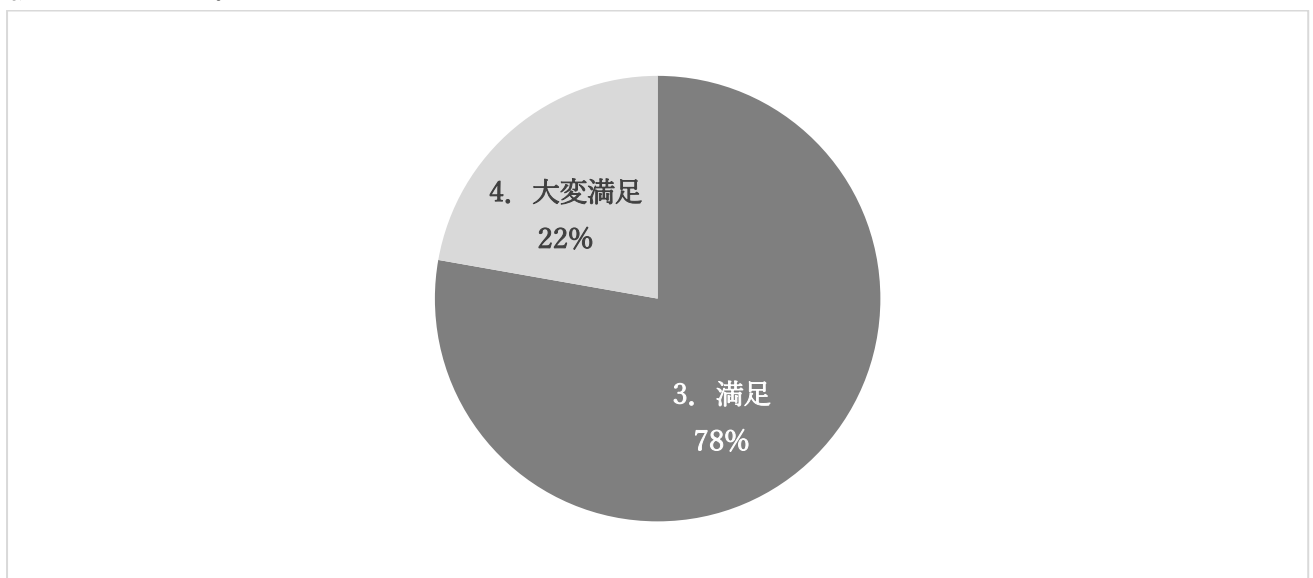
(8) (7) で2を選んだ方は希望時間を教えてください。

- ・11:00~16:00 でよい
- ・準備は大変だが、2日間やった方が効果的だと思います。

(9) 会場レイアウトについて、ご意見・ご要望があればご記入ください。

- ・特になし

(10) ポスター、ちらし、当日リーフ、大看板などの統一デザイン、広報活動についての満足度を教えてください。



(11) 開催前に「もっとこういう情報がほしかった」と思ったことがあれば教えてください。

- ・フェイスブック等、SNSでの広告を活用してほしかった

(12) その他、ご意見、ご感想、企画アイデアなどご自由にご記入ください。

- 第3週は街行く人が気忙しく、なかなかゆっくり足を止めて見てもらえない可能性あり。時期的に来場者にゆっくり見てもらえるような雰囲気は少なかったのは残念でしたが、今年も無事に終わり、皆様大変お疲れ様でした。物販や参加型のワークショップや展示、ファッションショーなど、様々な工夫がありました。1日だけは勿体ないという声も来場者から聞かれました。一方で、一部の方から「SDGsについての発信が弱い」というようなコメントを聞きました。SDGsへの認知度が高まるにつれ、「SDGsに乗っかっている一部のイベント」を厳しく見るような風潮も生まれている気がします（フェスタはそういう類のイベントではないのですが）。しっかり私たちの意図を伝えていく必要があるのかも知れませんね。私も意識的に、「SDGsソングは売名行為ではない」と敢えて言うようにしています。
- ステージに関しては各団体が発信したいことを発信する場となり、これはこれで良いスタイルだと思います。
- 全体のクイズラリーに当団体は参加しない予定だったのですが、当日配布されたブース番号に「7（当団体名）」が書かれており、実際の対応は隣のブースの団体さんにサポートして頂きました。
- 当日配布プログラムを事前広報で使えたのはとても良かったです。来場者がお目当てのプログラムに参加しやすくなったと思います。
 - ステージの時間管理や進行管理は、難しいですね。ファッションショー後、ステージの締めとしてステージは生もので流れがあるのでチームでよく情報共有しておかないといけませんし、私ももっと近くで関わっていたら状況を見ながら自分のステージを調整できたのですが、すみませんでした。でもファッションショーは華やかでお客様がたくさん立ち寄っていましたし、ステージスケジュールの事前広報はとても良いと思いますので、これからも続けていただけたらと思います。
- 今回はミュンヘンクリスマス市などのイベントに重なったためか来場者も多くみなさんお買い物をたくさんしていたように思いました。イベントにはいい時期なのかな、という印象でした。
- 実行委員の皆様、長い期間の準備、お疲れさまでした。ありがとうございました。
- 当日の搬入を担当された方、ありがとうございました。助かりました。
- 歩行空間の人通りはいつもより多かったが、今回は呼び込みをしても足を止めてくれる人が少なかった。さすがに暮れも押し迫って、みんな忙しそう。
- ステージの進行管理やMC、できる人がいないのなら、無理して例年通りのステージはやらないという選択肢もあったと思います。
- 当日の撮影班が必要では？いいカメラ持っている写真好きの方もいらっしゃるか。（ブースの写真、がっかり）
- クイズラリーの子ども用、就学前か小学校低学年が多く、問題そのものがちんぷんかんぷんというケースがほとんどでした。
- インフォデスク、暗いので、ライトを用意したらいいと思います。イベントの印象も明るくなるし、通行人の目を引くと思います。
- SNSのスタートと更新、難しいならチラシに載せないほうがいいのでは？
- 事務連絡は、訂正メールのないようにしてほしい。複数回メールが来ると混乱します。ステージの運営がスムーズでなかったと思います。MC、ミキサー、オペレーターとは別に、全体

流れを管理するディレクターが必要だったのでは？ソーランドラゴンさんがいなかったのも痛かった。

- 当日、お昼頃に当方のFBで出店していることを伝えたところ、5～6名の方が立ち寄ってくれました。当方だけでこれだけ効果があったので、各参加団体でもそれぞれに伝えたら、より多くの方達に来場していただくことができたのではないかと思います。
- 活動紹介ブースとチャリティーブースをミックス（ランダムに）に配置できないか。
- 立ち寄る人達の動線として物販の方で終結し、奥の活動紹介ブースまで来る人が少ないと感じた。
- 実行委員と参加団体代表は被らない方が良い。負担が大きいと感じました。
- 私達の会において冬の開催は寒いので最悪です。

(13)他の団体と共有したいと思う印象に残った来場者の声、エピソードがあれば教えてください。

- 緊急的な展示となった中村医師、緒方貞子さんへの追悼は共感の声が多数寄せられ良かった。
- 募金の代わりにと言ってバッジを購入された来場者がいた
- 科学大学と酪農学園大学とつながりができたので、今後の活動に生かせると思います
- ブースでお話ししたお名前もわからない来場者が、しばらくして戻って来て「頑張ってるね」とおせんべいを差し入れてくれました。
- クイズラリーは内容が良いので続けて欲しい
- 毎年国際協力リンゴを販売させて頂き、「毎年、楽しみにしているわ！」という固定客にも来て頂けるようになった。加えて、リンゴの会話から、札幌以外でも国際交流・協力を行っていることを知って頂ける貴重な機会となっている。島田さんをはじめとした実行委員会の皆様の多大なるご尽力に、心から深く感謝致します。皆さんで力を合わせ、少しでも長くこの活動を続け、北海道と世界が繋がっていること、色々なことが他人事ではないこと、一人ひとりの行動が世界を少しずつ変えていくこと等を伝え続けられるよう、微力ながら、私共も力を尽くしたいと思っております。
- 来場者の中でステージでの活動紹介のpptやビデオ等を見て、興味を持ってもらえたこと。



北海道 国際協力 フェスタ 2019

SDGs for all
～“ちがい”を知ろう!楽しもう!～

SDGs(エスディーゼイズ)は、
平和な未来に向かい国際社会全体が掲げる目標。
そして、いまを生きるわたしたち全員の目標です。

2019年12月21日(土) 11:00
～17:00

札幌駅前通地下広場(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場[西]

SDGs^{*}の17のゴールをめざし、
小さな一歩を積み重ねるNGO^{*}が
今年も師走のチ・カ・ホに集結!

チャリティー
バザーブース

異国の温もりあふれる雑貨や
フェアトレード商品、ネイルも!

活動紹介
ブース

NGOの活動を知るコーナー。
ボランティアの相談もお気軽に。

パネル展

じっくり、ゆっくり、ビジュアルで
情報収集。

ステージ

トークや映像、民族衣装の
ファッションショー等多彩なプログラム。

ワークショップ

毎年子どもに人気の手作り体験。
今年は何ができるかな?

クイズラリー

会場内を回れば、世界がみえる。
めざせコンプリート!

※このマークがついていることは、裏面を見てね!

主催：北海道NGOネットワーク協議会
共催：独立行政法人 国際協力機構北海道センター(JICA北海道)
後援：北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、
公益財団法人札幌国際プラザ

お問い合わせ

北海道NGOネットワーク協議会 事務局・岡田
〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNビル3階
(公財)札幌国際プラザ内 電話011-211-5028

北海道国際協力フェスタ

SDGs for all
~“ちがいを”知ろう!楽しもう!~

かわいいモノ、楽しい人、知らなかった国、じーんとくる話…
世界との出会いをたくさん用意して、みなさまをお待ちしています!



知らなかったことや、もっと知りたいことがたくさん



異国の文化にふれて“ちがいを”感じて



思い出に残るワークショップ



チャリティーで素敵な商品をGET!



ステージではトークやライブを楽しんで♪



今年も個性豊かな約30団体が集まります!

※写真は2018年のものです。

知ってハナタカ、 国際協力キーワード ③

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界の未来を共に創る17の目標



SDGs(エスディージーズ)

2015年9月の国連サミットで採択された国際社会共通の目標「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略です。17の目標で構成され、「No one will be left behind(誰ひとり置き去りにしない)」を合言葉に各国政府、NGO、民間企業、市民、みんなで2030年までの達成をめざします。

NGO(エヌジーオー)

「non-governmental organization(非政府組織)」の略。世界の様々な問題の解決に政府や国際機関ではなく民間の立場から取り組む非営利の市民団体です。

国際ボランティアデー

12月5日は国際ボランティアデーです。ボランティアの重要性を広めるための記念日で、毎年12月は世界中で様々なイベントが開催されています。

北海道国際協力フェスタ2019参加団体 (五十音順)

●あしなが学生募金事務局北海道エリア ●独立行政法人国際協力機構北海道センター (JICA北海道)
●NPO法人 札幌VO ●札幌ベトナム交流会 ●市立札幌大通高等学校 遊語部 ●公益社団法人 青年海外協力協会 ●青年海外協力隊 北海道OB会 ●セカンドハンド北海道 ●一般社団法人 滝川国際交流協会 ●NPO法人 どんご海外保健協会 ●NPO法人「飛んで!車いす」の会 ●非戦ネット 北海道有志の会 ●フィリピン耳の里親会 ●PLANサポーターズ ●フレンドシップフォース オブ 札幌 ●NPO法人 北海道インターナショナル協議会 ●北海道NGOネットワーク協議会 ●北海道科学大学 国際協力学生団体 Frato (フラート) ●一般財団法人 北海道国際交流センター ●北海道青年海外協力隊を育てる会 ●北海道青年国際交流機構 (北海道IYEO) ●NPO法人 ほっかいどうピース・トレード ●北海道マルディコラネパール教育基金 ●北海道ユニセフ協会 ●公益財団法人 北海道YMCA ●酪農学園大学 国際交流サークル SukaRela (スカレラ)

SNSもチェックしてね!



札幌市
さぼーとほっと基金
助成事業

ステージスケジュール

時間	団体名	内容
11:00~11:15	開会式	
11:15~11:45	北海道マルディコラ・ネパール教育基金	ネパールの子どもたちに奨学金、学校への図書寄贈の活動をご紹介します
12:00~12:25	NPO法人 札幌VO	ギターと歌のステージ
12:30~12:55	フレンドシップフォースオブ札幌	ホームステイを通じた国際交流を映像+トークで
13:00~13:30	公益財団法人北海道YMCA	YMCAの国際協力活動を映像でご紹介します
13:45~14:15	NPO法人「飛んでけ!車いす」の会	車いすを整備して海外に届ける活動の体験談
14:20~14:50	北海道ユニセフ協会	「子ども達の世界を守るSDGs」トーク
15:00~15:30	JICA北海道	世界とつながるクイズで民芸品ゲット!
15:45~16:15	北海道NGOネットワーク協議会	世界の民族衣装ファッションショー
16:15~16:30	JICA北海道+北海道NGOネットワーク協議会	SDGsの歌のパフォーマンス!民族衣装ともコラボして盛り上げます
16:45~17:00	閉会式	

北海道NGOネットワーク協議会 〈事務局・岡田〉
〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目札幌Mビル3階
(公財)札幌国際プラザ内 電話011-211-5028



北海道国際協力フェスタ 2019

SDGs for all
~“ちがいを”知ろう!楽しもう!~

SDGs(エスディージーズ)は、
平和な未来に向かい国際社会全体が掲げる目標。
そして、いまを生きるわたしたち全員の目標です。

2019年12月21日(土) 11:00~17:00

札幌駅前通地下広場(チ・カ・ホ) 北3条交差点広場〔西〕

■主催:北海道NGOネットワーク協議会 ■共催:独立行政法人 国際協力機構北海道センター(JICA北海道)
■後援:北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、公益財団法人札幌国際プラザ

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDGsとは:2015年9月の国連サミットで採択された「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略。17の目標で構成され、誰ひとり置き去りにしないを合言葉に各国政府、NGO、民間企業、市民、みんなて2030年までの達成をめざします。



会場案内

会場内を巡るクイズラリーも実施中。解答用紙はインフォメーションで手に入れてね。

<p>①北海道NGOネットワーク協議会</p> <p>道内NGOのネットワーク。NGOと市民を結びます。</p>	<p>②あしなが学生募金事務局北海道エリア</p> <p>日本とアフリカの途児を募金活動により支援する学生団体。</p>	<p>③NPO法人「飛んでけ!車いす」の会</p> <p>車いすを整備し海外へ届ける活動。近年では整備技術も伝えている。</p>	<p>④北海道青年国際交流機構(北海道IYEO)</p> <p>世界中の人と繋がってみたい方、ブースをお待ちしています!</p>	<p>⑤PLANサポーターズ</p> <p>気軽に国際協力♡チャリティネイルで途上国の女子を支援!</p>	<p>⑥JICA北海道</p> <p>青年海外協力隊派遣など、途上国支援を行う政府系機関。</p>
<p>⑦青年海外協力隊北海道OB会</p> <p>青年海外協力隊OBの団体で、活動紹介や志願者へ説明をします。</p>	<p>⑧フレンドシップフォースオブ札幌</p> <p>ホームステイを通じて国際交流を楽しんでいます。</p>	<p>⑨非戦ネット北海道有志の会</p> <p>武力行使に反対し、武力に頼らない平和な世界を目指します。</p>	<p>⑩酪農学園大学国際交流サークル SukaRela(スカレラ)</p> <p>学校内外で留学生や国際交流関係の催し物を行っています。</p>	<p>⑪公益財団法人北海道YMCA</p> <p>ベトナムの農村で教室が足りない分校での教室建設を行っています。</p>	<p>⑫フィリピン耳の里親会</p> <p>フィリピンの聴覚障害児への就学支援とろう教育向上支援。</p>
<p>⑬セカンドハンド北海道</p> <p>カンボジアの教育・医療支援を行っている団体です。</p>	<p>⑭北海道マルディコラネパール教育基金</p> <p>ネパールの生徒に奨学金を提供しています。紅茶、Tシャツ等を販売。</p>	<p>⑮NPO法人どさんご海外保健協力会</p> <p>ネパールの山岳地帯で医療・公衆衛生活動を行っています。</p>	<p>⑯札幌ベトナム交流会</p> <p>市民レベルでベトナムとの友好・親善を深める交流活動をしています。</p>	<p>⑰NPO法人 札幌VO</p> <p>美味しい、安全、可愛いフェアトレード商品を販売します。</p>	<p>⑱NPO法人 ぽっかいどう</p> <p>美味しい安全なフェアトレード珈琲やチョコを販売します。</p>
<p>⑲北海道ユニセフ協会</p> <p>世界の子どもたちの命と健康を守る活動を行っているユニセフを支援しています。</p>	<p>⑳市立札幌大通高等学校遊語部</p> <p>エコラップやフェアトレードチョコレートなどを販売します。</p>	<p>㉑一般社団法人滝川国際交流協会</p> <p>滝川から世界へ、世界から滝川へ。国際協力りんご、今年も!</p>	<p>㉒一般財団法人北海道国際交流センター</p> <p>多様性を共に支えあう社会を目指して函館を拠点に活動しています。</p>	<p>㉓北海道科学大学国際協力学生団体Frato</p> <p>シアバターを押ってフェアトレードを知ろう!</p>	<p>㉔フェアトレード北海道</p> <p>フェアトレードタウン札幌で、身近な国際協力を進めます!</p>
<p>㉕NPO法人北海道国際交流センター</p> <p>本会は専門家技術提供の国際交流により地域社会との連携を目指します。</p>	<p>㉖北海道青年海外協力隊を育てる会</p> <p>設立40周年を迎えた当会の目的、役割を事業活動を通じてPR。</p>				



2019 年度国際協力フェスタ・プレイベント



SDGs -国連・持続可能な開発目標-
CSO (市民活動団体、NGO・NPO) ミーティング

持続可能な開発と市民社会
—NGO・NPOのこれまでとこれから

国連が2030年までの世界共通目標として掲げたSDGsの達成には、市民一人ひとりの意識と行動が必要です。市民が自発的に集まり、様々な課題に草の根で取り組むNGO・NPOの活動は、「持続可能な開発」へと世界を方向づける重要な鍵となります。市民社会の視点から、SDGsをみつめ直しましょう。

■日 程 2019年10月22日(火・休) 13:30~16:30

■会 場 札幌エルプラザ 2F 環境研修室1・2
札幌市北区北8条西3丁目 JR札幌駅北口地下通路直結

■参加費 500円



基調報告 「SDGs とは何か～市民社会の視点から」

お話 大橋 正明さん (SDGs 市民社会ネットワーク 共同代表)

ワークショップ 「SDGs を手がかりに、NGO・NPO の役割を再考する」

ファシリテーター 伊東 かおりさん (NPO ファシリテーションきたのわ)

◆大橋 正明 (おおはし まさあき) さんプロフィール

80年インド・デリーの国立「中央ヒンディー語学院」終了。80~87年シャブラニールのバングラデシュ駐在員と事務局長、90~93年国際赤十字・赤新月社連盟兼日本赤十字社バングラデシュ駐在員、93~14年恵泉女学園大学教員(現在は名誉教授)、14年から聖心女子大学教授、聖心女子大学グローバル共生研究所所長。主著に「SDGsを学ぶ」(共編著、法律文化社、2018)、『バングラデシュを知るための66章(第3版)』(共編著、明石書店、2017)、『非戦・対話・NGO』(共編著、新評論、2017)など。

■主催 さっぽろ自由学校「遊」、北海道NGOネットワーク協議会、北海道NPOセンター

■助成 環境再生保全機構地球環境基金

問い合わせ先: TEL.011-252-6752 syu@sapporoyu.org (さっぽろ自由学校「遊」・小泉)

新聞



フェアトレードで仕入れた商品の販売などが行われた会場

道内を拠点に活動する非政府組織（NGO）でつくる北海道NGOネットワーク協議会の主催。22回目の今回は国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」がテーマで、27の市民団体、学生団体が出展した。会場では、発展途上国の商品を適正価格で取引する「フェアトレード」で仕入れたチョコレートや布製品の販売のほか、民族衣装のファッションショーなどが行われた。アファガニスタンで殺害された福岡市のNGO「ペシャワール会」現地代表の医師中村哲さんの活動を紹介するパネルも展示された。フェスタの実行委員長で

国際協力に携わる道内団体の活動を紹介する「北海道国際協力フェスタ2019」が21日、札幌市中央区の札幌駅前通地下歩行空間（チカホ）の北3条交差点広場で開かれた。パネル展示などを通して来場者が途上国の現状や各団体の取り組みへの理解を深めた。

（大飼裕一）

札幌

国際協力フェスタ フェアトレード品販売も

「SDGs」への理解訴える

NPO法人「飛んでけー車いす」の会（札幌）理事の島田祐亮さん（35）は「貧困や差別のない社会づくりへの理解を深めるきっかけになってほしい」と話した。

●北海道国際協力フェスタ2019SDGs for all～“ちがいを”知ろう！楽しもう！～



11:00～17:00、札幌駅前通地下歩行空間（チカホ）北3条交差点広場（西）。道内で国際協力をテーマに活動する約30の市民団体や学生団体を、フェアトレード商品の販売やパネル展示を通して紹介します。各国の民族衣装のファッションショーや映像を交えながらのトークなどのステージ、ワークショップやクイズラリーなど子ども向け企画も楽しめます。入場無料。北海道NGOネットワーク協議会事務局 ☎211・5028

道内NGOが集結！ 北海道国際協力フェスタ「ちがいを”知ろう”楽しもう！」
12月21日、チカホ
SDGsの17のゴールをめぐり、小さな一歩を積み重ねる

ねるNGOが今年も師走のチカホに集結！北海道NGOネットワーク協議会が主催する北海道国際協力フェスタ2019SDGs for all「ちがいを知ろう！楽しもう！」が12月21日（土）午前11時から午後

後5時、札幌駅前通地下歩行空間チカホの北3条交差点広場西地下鉄大通駅さっぽろ駅直結で開かれる。参加無料。当日直接会場へ、異国の温もりあふれる雑貨やフェアトレード商品などが並ぶチャリティーバザールも、各種団体のトークや映像での活動紹介、民族衣装のファッションショーなどを多彩に盛り付けるステージ、小物作りなどで



チカホで「北海道国際協力フェスタ」



[連絡先]

北海道NGOネットワーク協議会

事務局・岡田

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目札幌MNビル3階(公財)札幌国際プラザ内

TEL.011-211-5028 FAX.011-232-3833

E-Mail.okada@hif.or.jp